

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0101	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市域全体	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 線引きや用途地域、街路計画等、都市計画全般についての検討と策定を行う。 都市計画決定の手続きの中で、変更案を審議会に付議又は諮問し、都市計画審議会の議決又は意見を求め、都市計画の決定を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<取組み概要> ・都市計画基礎調査を実施し、都市計画の変更や決定に必要な資料を収集 ・課題のある区域の現状を把握し、問題点を洗い出し ・都市計画総括図等を作成し、計画的な土地利用を促進 ・印刷物(総括図 1/10,000、1/25,000等)を作成 ・窓口支援システムの内容更新を行い、正確かつ迅速な窓口対応を実現 ・審議会は議案のある都度、随時開催 ・暫定用途地域解消に向けた検討 ・都市計画道路見直しに向けた検討 ・立地適正化計画の検討 ・立地適正化計画検討会議における関係団体との検討
	的確な都市計画の推進により、市街地の整備が進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 都市計画基礎調査の調査項目数	件	2	2	2	2
	B 審議会開催数	回	3	1	3	2
成果指標	C 整備の完了した区域の面積	ha	604.5	604.5	604.5	604.5
	D					
事業費 計			13,692	2,827	7,581	9,611
財源内訳		ア 国	2,100		2,400	2,400
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	260	472	261	873
		オ 一般	11,332	2,355	4,920	6,338

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標Cについては、実績値に変化がない。 (原因) 整備が完了した区域の面積は、市街地整備が完了し、市が移管を受けた時点で増加するため、現段階で実績値には表れないものの、土地区画整理等の市街地整備事業は順調に進められている。
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	立地適正化計画策定に向けて事務を進めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
立地適正化計画策定に向け、市の現状の把握・分析等を行うとともに、都市計画審議会において策定の進捗状況報告を行った。			

都市計画マスタープラン推進事業

[1213]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0104	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内全域	尾張旭市都市計画マスタープランの確実な進行管理と、社会状況等の変化に基づく内容の適宜見直しを行うことによって、その積極的な推進につなげる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<取組み概要> ・関係各課へ都市計画マスタープランの進捗状況等を確認 ・進捗状況の集計 ・集計結果に基づき、都市計画マスタープラン庁内推進会議を開催 ・会議検討結果を各課へ通知するとともに、市ホームページを通じて公表 ・都市計画マスタープラン掲載の事務事業の進捗状況を確認 ・平成30年10月に都市計画マスタープランの部分改定を実施
	都市計画マスタープランの確実な進行管理と柔軟な見直しによって、同プランに掲げる都市づくりの理念と目標の実現につながっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 庁内推進会議開催回数	回	1	1	2	1
	B					
成果指標	C 各種方針の進捗率	%	96.1	96.4	97	97.4
	D	%				
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標Cの進捗率は、前年度実績から1.0p向上した。 (原因) 進捗率はすでに高い水準に達しているものの、個別事業は徐々に推進されていることから、進捗率としては微増となっている。
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	次期都市計画マスタープランの策定について検討します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
各課への照会を通じてマスタープランの進行管理を実施し、次期中間年次報告のための基礎資料とした。			

開発許可等申請事業

[427]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0105	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	申請者(届出者)、愛知県	<p>各種申請事務 事業者からの申請に対し、市町村建築行政事務処理要綱及び市町村開発行政等事務処理要綱に基づき、愛知県へ進達する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築確認申請 ・ 特定施設整備計画届出書 ・ 都市計画法開発許可申請 建築許可申請 ・ 宅地造成規制法に基づく申請 ・ 道路位置指定申請書 建設リサイクル法に基づく届出 ・ 優良宅地、優良住宅認定
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>地区計画審査 ・ 地区整備計画が定められた区域内で建築行為等をする者から届出書を受理し、内容を審査した結果条例に適合している場合は、適合書を交付する。</p> <p>宅地開発等指導要綱事務 ・ 事業者から宅地開発等指導要綱に基づく申請に伴い、よりよい街づくりになるよう指導を行う。 ・ 都市計画法の開発許可基準に合致するよう愛知県及び事業者との調整を行う。</p> <p>建築相談事務 ・ 事業者、住民からの建築に関する相談に対し、必要に応じた助言等を行う。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 開発許可件数(進達件数)	件		39	35	21
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

北原山土地区画整理事業

[384]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0107	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

北原山町、南原山町、新居町、東大道町、大久手町、北山町の各一部

道路や公園などの公共施設が整備され、快適な生活ができる環境が整っている。

土地区画整理組合に対して補助金等の資金援助を行うとともに県その他関係機関との調整を行う。
組合事業全般に対して勧告、助言を行い、土地区画整理事業の円滑な推進を図る。

平成12年度 事業開始
平成17年6月 仮換地指定
平成21年度 事業計画(3回)の変更認可
平成22年度 総会(役員改選)、総代選挙
平成27年度 総会(役員改選)、総代選挙
平成28年度 実施計画(2回)、事業計画(4回)の変更認可
平成29年度 事業計画(5回)の変更認可
令和元年度 実施計画(3回)、事業計画(6回)の変更認可
令和2年度 総会(役員改選)、総代選挙

令和14年度(予定)換地処分
令和15年度(予定)組合解散

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 事業進捗率(事業費ベース)	%	62	67	72	70
	B 建物移転件数			30	30	16
成果指標	C 区画内の公共用地の整備率(秩序ある街区形成)	%	18	38	42	42
	D 地区内人口			3,532	3,540	3,582
事業費 計			709,500	929,556	725,000	757,170
財源内訳		ア 国	244,750	307,000	225,000	222,448
		イ 県				
		ウ 地方債	100,000	250,000	200,000	200,000
		エ その他				
		オ 一般	364,750	372,556	300,000	334,722

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 成果指標C「区画内の公共用地の整備率(秩序ある街区形成)」については、R1実績とR2実績を比較すると4%増加している。</p> <p>成果指標D「地区内人口」については、R1実績とR2実績を比較すると50人増加している。</p> <p>(原因) 成果指標C、Dについては、北原山4号線の道路築造により、多くの区画が完成したことに因るものである。</p>
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	事業進捗を図るため、引き続き組合を支援します。		
R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況		
	<p>事業進捗を図るため、尾張旭北原山土地区画整理組合に補助金を交付し、区域内の道路築造、街区整備の促進を支援した。ただし、一部では、新型コロナウイルスの関係で事業進捗が遅れ、建物移転が年度内に完了せず、R3年度へ繰越を行った。</p> <p>建物移転件数(R2年度完了) 16件 建物移転件数(繰越分) 10件 道路築造 都市計画道路 335m 区画道路 521m</p>		

北山地区まちづくり支援事業

[1174]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0108	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

【都市計画マスタープラン掲載重点事業】
市街化区域の未整備についてモデル地区を設定し、住民主導でまちの問題点や改善点を見つけ出し、意見交換会、ワークショップ等を行い問題点等を協議し、まちづくりの手法を導き出していく。
平成20年度 意見交換会開催
平成21年度 タウンウォッチング開催、ワークショップ開催
平成22年度 まちづくり討論会開催、まちづくりグループ結成

(平成23年度より北山地区まちづくり運営委託事業から北山地区まちづくり支援事業へ名称変更)
市街化区域未整備地区の北山地区で結成された、将来の都市基盤整備を視野に入れた地元まちづくりグループをソフト面で支援する。
平成23年度 まちづくりグループ設立、イベント等活動を支援
平成24年度以降 まちづくりグループ活動支援
平成25年度 あいちモリコロ基金初期活動助成金を申請、採択される。
平成28年度～ 狭あい道路路線整備事業によるモデル路線の検討
平成30年度 まちづくりグループを街づくり推進団体に認定

・北山地区(市街化区域未整備地区)
・地区内の住民

まちづくりグループの活動などを通じて住民自らが都市基盤の整備手法を検討している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 活動支援の回数(会議等の出席回数)	回	15	10	15	8	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計			48	24	50	47	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	48	24	50	47

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

狭あい道路路線整備事業

[1280]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0109	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>・市街化区域内のうち土地区画整理事業が実施又は計画されていない区域内で、幅員4m未満で一定区間(交差点から交差点)に接する土地の地権者等</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>対象路線(交差点から交差点)の道路幅員が、4m以上確保されている。</p>	<p>地域住民による街づくり推進団体が設立され、整備計画を策定する。街づくり推進団体が関係地権者へ事業説明等を行い、関係地権者全員の同意を得る。街づくり推進団体が策定した計画を市が承認した後、市が測量・分筆登記・道路整備を行う。用地を寄附した地権者には奨励金を、支障物件を除去した地権者には助成金を交付する。</p> <p>平成28年度 尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の制定 対象路線の検討</p> <p>平成29年度～ 整備計画の策定 関係地権者の同意 同意が得られれば対象路線の整備</p> <p>平成30年度 街づくり推進団体認定 1団体</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 街づくり推進団体の活動支援回数(会議参画等)	回	1	10	15	8	
	B 街づくり推進団体認定件数	件		1	1	1	
	成果指標	C 本事業における狭あい道路解消延長(累計)	m	0	0	0	0
		D 狭あい道路解消整備計画策定数	回		0	1	0
事業費 計				484			
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			484		

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 成果指標C「本事業における狭あい道路解消延長(累計)」については、R1実績とR2実績で変化はない。</p> <p>成果指標D「狭あい道路解消整備計画策定数」については、R1実績とR2実績で変化はない。</p> <p>(原因) 成果指標Cについては、R2年度で狭あい道路拡幅の予定がなかったためである。</p> <p>成果指標Dについては、関係地権者の状況等により、計画策定の同意を提案できなかったことに因るものである。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

公園維持管理事業

[418]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0201	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 市管理の公園(都市公園、ちびっ子広場等) 市民 	<ul style="list-style-type: none"> 公園がやすらげる公共空間として市民の憩いの場となるよう市民の要望等に基づき維持管理、整備などを行う。 地域住民により公園愛護会が設立され、自主的に公園の維持管理が行われるよう、ワークショップなどを開催し、地域住民の公園に対する愛着心を高める。 公園愛護会は、自治会、町内会、子供会、老人クラブ又は公園周辺の地域住民により構成され、公園内の雑草の除去、清掃、公園愛護思想の普及啓発などの活動を行っています。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><公園の種類>R3.3.31現在</p> <p>都市公園等・・・81箇所(旭平和墓園を除く。)</p> <p>ちびっ子広場等・・・51箇所</p> <p>その他(維摩池、大森池)・・・2箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に安心して子供たちが遊べる場所として、公園の遊具等を適正に維持管理することにより、子育てしやすい環境を整える。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A m ² 当たりの維持管理事業費(事業費/開設面積) (開設面積=都市公園供用面積-墓園+ちびっ子広場等+維摩池外)	円	204	210	241	225	
	B						
成果指標	C 公園に満足している市民割合	%	26.8	25	30	-	
	D 公園愛護会活動充実プラン採用団体数	団体	9	12	15	13	
事業費 計			107,210	114,554	124,396	122,402	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		3,271	3,068	3,942	3,658
		オ 一般		103,939	111,486	120,454	118,744

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)公園愛護会充実プラン採用団体数は増加している。 (原因)全国植樹祭を開催したことから、公園や緑に対する意識の醸成が図られたことが考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。 プレイパークについて、情報収集し、実施可否等を検討します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断し発注した。 プレイパークについて、情報収集し、実施団体や、実施場所の選定を行った。		

都市公園新設事業

[419]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0202	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	都市公園 市民	旭前城前(区)内街区公園(9箇所) 区画整理事業との調整を図りながらH24年度からワークショップによる実施設計を行い、H28年度までに地区内9公園の整備を完了した。 都市再生整備計画事業に計上している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	地域住民の憩いの場、やすらぎの場、楽しめる場として、また災害時の一時避難地として公園整備がされている。 地域住民により公園愛護会が設立され、公園が自主的に管理されている。	北原山(区)内街区公園(5箇所)、近隣公園(1箇所) 整備時期はまだ未定であるが、区画整理事業との調整を図りながら整備を進める。 区画整理事業の進捗に伴い、子供達の遊び場を確保するため、H30年度に街区公園予定地の一部を暫定広場(2箇所)として整備した。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A ワークショップ等への参加者数	人	0	0	10	0	
	B			0			
成果指標	C 一人当たり都市公園面積	m ² /人	9.3	9.5	9.4	9.5	
	D			0			
事業費 計			3,939				
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		3,939			
		オ 一般					

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	(状況・原因)平成28年度以降都市公園の新設は行っていない。新設を行えば、指標は上がる。
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園改良事業

[1017]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0203	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園近隣住民 ・街区公園 	<p>老朽化した公園の改良工事を行う。</p> <p>工事前に行う基本設計、実施設計において、住民参加によるワークショップを行い、設計から整備まで係わることで公園に対する愛着を深め、完成後も維持管理や公園での自主活動を行う公園愛護会の充実を目指す。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園を改良して、よりやすらげる公共空間になっている。 ・公園改良後、地域住民から組織される公園愛護会により、適切に公園の維持管理が行われている。 	<p>平成26年度に下川原公園に複合遊具を設置した。</p> <p>令和元年度に城山公園拡張事業完了。</p> <p>令和4年度から令和6年度にかけて東栄公園、旭台第1号公園の改良を予定。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A ワークショップ等への参加住民数	人	0	0	30	0
	B					
成果指標	C 街区公園改良箇所数(累計)	箇所		0	0	0
	D 対象公園愛護会会員数	人	0	0	0	0
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)老朽化した街区公園の改修は実施されていない。</p> <p>(原因)街区公園の改良を行えば、さらに成果が向上することが見込まれる。</p>
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園トイレ設置事業

[1165]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0204	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者(市民) 都市公園 	<p>公園のトイレは、必ずしも必要ないが公園利用者の快適性と利便性を高めるため、公共下水道の整備状況等を考慮し計画的に整備する。</p> <p>令和2年4月1日現在 67都市公園中トイレ未整備数 16公園</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>〔トイレ未整備公園〕 黒石公園、長池上公園 東名西公園、藤池公園、狩宿新町第2号公園、本地ヶ原東公園、 白山公園、池上公園、晴丘東公園、広久手公園、白鳳公園、中畑公園、 桜ヶ丘公園、とちの木公園、本地ヶ原南公園、池の端公園</p> <p>トイレを設置することにより、快適に子供たちを遊ばせる環境を整える。</p>
より快適で安全に公園を利用できるようになっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A トイレ設置済み公園数	箇所	51	51	52	51
	B トイレ整備率	%		76	78	76
成果指標	C					
	D					
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市景観形成事業

[423]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0301	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	都市景観の向上	担当	都市整備部 都市計画課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月：にぎわいフェスタ実施、景観啓発 ・12月上旬から1月中旬まで：尾張旭駅前広場、印場駅前広場、旭前駅前広場内でイルミネーション実施 ・12月中：「あさひ冬フェスタ」実施 ・あさひ景観フォトサロン(ホームページ・ロビー展示・絵ハガキ作成) ・屋外広告物の許可事務及び年3回路上広告物パトロールを実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><取組みの経緯></p> <p>H23 冬季の各種イベントを統合し、「冬まつり」として実施 H24~ 「あさひ冬フェスタ」として市民参画機会を拡大して実施 H28~ 印場駅前広場、旭前駅前広場にてイルミネーション実施 H30~ グリーンシティケーブルテレビ周辺の植樹帯にてイルミネーション実施</p>
・良好な景観が保全され新たに創出されている。 ・見た人が、季節感やこころの安らぎを感じている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 「あさひ冬フェスタ」イベント数(R03~屋外広告物パトロール回数)	個	28	26	30	20
	B 「あさひ景観フォトサロン」への参加者数(R03~駅前広場におけるイベント回数)	人	11	11	15	21
成果指標	C 屋外広告物撤去件数(景観改善件数)	件		25	45	8
	D 駅前広場におけるイベントへの参加者数	人	15,910	10,562	10,000	8,441
事業費 計			2,854	3,054	3,506	3,030
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		580	1,040	600	1,000
	オ 一般		2,274	2,014	2,906	2,030

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標C・Dとも、前年度実績と比べ低下した。特に成果指標Cの実績は、68.0%の大幅な低下となっている。</p> <p>(原因) 成果指標Cについては、屋外広告物の撤去件数が前年度に比べ大幅に減少したが、違反広告物自体が減少し、市内の景観が良好に保たれているため撤去件数が減少したと考えられる。また、成果指標Dについては、新型コロナウイルス感染症の影響により各イベントが中止となったことが原因と考えられる。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0401	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	市営住宅の適切な管理	担当	都市整備部 都市計画課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市営住宅(3団地・5棟・71戸)及び市営住宅入居者	<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の保守維持管理を直営で計画的に実施(消防設備は委託管理) 市営住宅の修繕要望の内容の判断と、経年劣化等入居者負担に適さないものについての対応 尾張旭市公営住宅長寿命化計画に基づいた、建物の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を目指した効率的な修繕、改善の実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>入居者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退去者への対応 部屋の修繕、駐車場の検査、敷金及び保証金の返還、退去室内クリーニング広報とホームページで公募し抽選で入居者決定、賃貸借契約の締結、入居説明実施 家賃、駐車場使用料の徴収管理 毎年、収入申告書に基づき翌年度の家賃を決定 口座振替対象者分を各金融機関へ振替依頼、納付書支払者へ納付書を郵送 納入状況を确认后、滞納者へ督促状を郵送し早期完納を促す

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 修繕件数、工事件数 市営住宅の入居戸数	件(戸)	46(71)	32(71)	35(71)	51(71)
	B 家賃、駐車場使用料の納付額	円	22,938,500	22,284,840	23,000,000	21,322,300
成果指標	C 修繕率	%	100	100	100	100
	D 市営住宅の入居率及び家賃、駐車場使用料の納付率	%	100	100	100	100
事業費 計			28,680	6,649	22,845	21,148
財源内訳		ア 国	12,236	1,897	10,000	8,354
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	16,444	4,752	12,845	12,794
		オ 一般				

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	活動指標は100%を達成しており、この状態を維持していく必要がある。
--------	---	------------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

北山集会施設等維持管理事業

[386]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0901	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 北山集会施設(旧北山区画整理集会所) 先行取得用地 	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備保守委託 浄化槽保守委託 先行取得用地草刈等委託
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 集会所が適正に管理されている 先行取得用地が適正に管理されている 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 消防設備及び浄化槽点検回数	件	16	14	14	14	
	B 草刈施行回数	回	2	2	2	2	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			613	1,894	602	554	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	613	1,894	602	554

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の一部の解体を軸とし、今後、周辺地域のための有効利用を検討します。		
実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の一部(倉庫)の解体に向けて、資機材等を整理した。 安全確保を最優先とし施設の解体を行う。今後の土地活用については、引き続き検討していく。 		

道水路用地取得処分事務

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者および関係者	道水路用地の取得及び処分を目的とし、不動産鑑定評価、用地測量、登記(表示及び権利)を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地の取得処分により、道路の拡幅、排水路改修など整備が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 不動産鑑定評価件数	件	0	1	2	2	
	B 測量、登記件数	件	15	15	5	19	
成果指標	C 道水路用地取得の結果、整備された道水路	件	8	6	3	5	
	D						
事業費 計			2,230	1,486	1,287	3,252	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		2,230	1,486	1,287	3,252

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 なし	(状況)「道水路用地取得の結果、整備された道水路」はR1実績の6件と比較し1件少ない状況となった。 (原因)寄附等で取得した土地の内、多くが既に道路形状であり、用地取得後に整備する必要が無い土地が多かったことが要因である。
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

道路台帳補正事業

[437]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0903	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市道、橋梁 台帳閲覧者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>道路台帳を道路の異動(新設・改良)に応じて適正に加除修正を行い、現況に即した状態で管理できている。</p>	<p>道路法第28条の規定によって、道路管理者はその管理する道路について、図面と調書からなる道路台帳の調整・保管が義務づけられている。 本市においては、GISをベースとした道路台帳のシステムを導入し、台帳の調整、保管、管理を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年度内に行った道路改良工事及び新設工事を調査 2 道路の形態が変わったもの、新しく道路が作られたものを選定 3 補正委託業者に道路台帳、台帳図の修正を委託 4 市役所窓口にて道路台帳の閲覧を行う

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 補正延長(部分改良、修正等を含む)	km	2	1	2	1.7
	B 増減橋梁数	箇所	0	0	0	0
成果指標	C 道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル	件数	0	0	0	0
	D					
事業費 計			4,104	2,968	3,050	2,904
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,104	2,968	3,050

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況)「道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル」は、R1実績と同様に0件という結果となった。 (原因)当該年度に変更があった道路に関し、道路台帳の補正ができている。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

境界確認事務

[1195]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0904	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者及び関係者	土地境界確認申請書の提出を受け、申請地及びその周辺の土地に関する資料などの調査や現地立会いを行い、その結果により作成された境界確定図等の必要書類を確認し、証明を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	官民境界確認証明書交付件数 H20:139件 H21:156件 H22:170件 H23:162件 H24:192件 H25:204件 H26:217件 H27:223件 H28:205件 H29:228件 H30:257件 R01:233件 R02:177件
	道水路用地と接する土地との境界を明確にし、後々のトラブルを解消する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 官民境界確認申請件数	件	245	240	220	181
	B					
成果指標	C 官民境界確認証明書交付件数	件	257	233	220	177
	D					
事業費 計				327	400	311
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			327	400

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況)「官民境界確認証明書交付件数」はR元実績と比較し56件、24.0%減少した。</p> <p>(原因)R元と比較し、申請件数が減少した(R元:240 R2:177)ため。新型コロナウイルスが影響したと考えられる。</p>
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市再生整備計画実施事業

[1124]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	39-0901	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	都市再生整備計画 健康都市中央地区(H22~H26) 尾張旭中央地区(H27~R1) 尾張旭市活力拠点地区(R2~R6)	社会資本整備総合交付金を活用するため都市再生整備計画の作成・変更を行い、事業最終年度に事後評価を実施する。 都市再生整備計画(尾張旭中央地区)(平成27年度~令和元年度) ・平成30年度 事後評価方法書の作成。 ・令和元年度 事後評価の実施、次期計画の策定 ・令和2年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。次期計画の開始 都市再生整備計画(尾張旭市活力拠点地区)(令和2年度~令和6年度) ・令和5年度 事後評価方法書の作成 ・令和6年度 事後評価の実施、次期計画の策定 ・令和7年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。次期計画の開始
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	都市再生整備計画を策定・進行管理し、各種事業を実施する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 計画の見直し	回	0	1	1	2	
	B 評価会議開催数	回	0	1	0	0	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			421	2,969			
財源内訳		ア 国		800			
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	421	2,169		

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

道路占用事務

[491]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	39-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が管理する道路(路上、上空、地下)の占有者	<ul style="list-style-type: none"> 道路占用、公共用物使用の許可等事務 <ul style="list-style-type: none"> <新規、変更> 道路占用等許可申請書の受理 申請書の内容の審査 必要に応じ現場確認および関係者との協議 占用の許可 占用料金の徴収 <継続占用物の占用料徴収> 毎年4月に継続占用物の占用料を徴収 <更新> 占用許可期間終了前に占有者へ連絡 必要に応じ更新手続きをしていただく 市道占有者会議の開催 大口占有者を対象に6月上旬に年間の工事予定等の確認
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路管理に支障をきたさないよう、占有物件の実態が把握できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 占用料調定件数(新規・更新、年間)	件	101	90	100	106
	B 道路占用許可件数(新規、年間)	件		850	950	762
成果指標	C					
	D					
事業費 計					5,000	4,889
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				5,000

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

都市計画課庶務事務

[948]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	99-0501	実施 計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要 (目的、手段)

事業 目的 と 概要 (02 年度 分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	・ 課の庶務事務、課員	都市計画課の主な庶務事務 文書の収受・管理 庁内外の照会文書の調査・報告のとりまとめ 時間外勤務・出張命令書の整理 課の備品・消耗品の調達・管理 郵便物の発送 公用車の管理 都市計画関係図書の整理 予算決算に係る事務 入札・契約及び台帳整理 行政評価・事務事業評価に係る事務 人事考課に係る事務 都市計画諸証明に係る事務 国土利用計画法に基づく届出に係る事務 公拡法に関する事務 都市計画法第53条の届出に係る事務 駐車場法の届出に係る事務 地価公示、地価調査の閲覧に係る事務 職員互助会に係る事務 用途地域等照会事務 (所要時間：1日平均5時間×20日×12月) 都市計画関連負担金事務
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	・ 各種会議及び研修会への出席 ・ 各種調査への回答・情報交換及び刊行物の収受 ・ 負担金の支払い
	・ 課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。 ・ 庶務事務の適切なフォローにより、都市計画課職員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動 指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果 指標 ・ 事業 費	事業費 計			772	724	805	677
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		16	14	16	14
		ウ 地方債					
		エ その他		197	381	404	330
		オ 一般		559	329	385	333

R02年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

都市整備課庶務事務

[950]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0502	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	課の庶務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課の庶務的な事務が、正確かつ円滑に進んでいる。 ・庶務事務の適切なフォローにより、課員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 庶務事務所要時間						
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計			2,973	2,067	1,194	810	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		2	1		
		オ 一般		2,971	2,066	1,194	810

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

土木管理課庶務事務

[947]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0503	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	土木管理課職員、公用車	文書の收受・管理 庁内文書の処理 庁内外の照会文書の調査・報告 郵便物の発送 出張命令書の整理 出勤簿・年次休暇処理簿の整理(工務員) 課の備品・消耗品の調達・管理 公用車の管理 会計事務 予算 決算に関する事務 行政評価・事務事業評価に関する事務 各種会議・研修 会参加に関する事務 入札・契約事務及び台帳整理 情報公開に関する事務 文書の廃棄処理 ホームページ事務 各種団体負担金に関する事務 土木積算システムに関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A						
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円	3,435	3,536	3,819	3,607	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他	13	17	11	13
オ 一般		3,422	3,519	3,808	3,594		

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
未設定		

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定